



2025年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2024.11.07

1. 企業概要
2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み

1. 企業概要

会社概要

会社名 株式会社エーアイ (AI, Inc.)

設立 2003年4月1日

資本金 100,000,000円
(資本準備金 121,280,000円)

本社所在地 東京都文京区西片一丁目15番15号

代表者 代表取締役社長 廣飯 伸一

決算期 3月

事業内容

- ・音声関連技術の研究開発及び関連するサービス・ソリューションの企画・提供
- ・デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等



主要取引先

株式会社NTTドコモ

ソフトバンクロボティクス株式会社

トヨタ自動車株式会社

株式会社富士通ゼネラル

株式会社ライトワークス

パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社

LINEヤフー株式会社

Cerence Inc.

日本無線株式会社

沖電気工業株式会社

株式会社日立国際電気

京セラコミュニケーションシステム株式会社

主要株主

廣飯 伸一

合同会社吉田事務所

吉田 大志

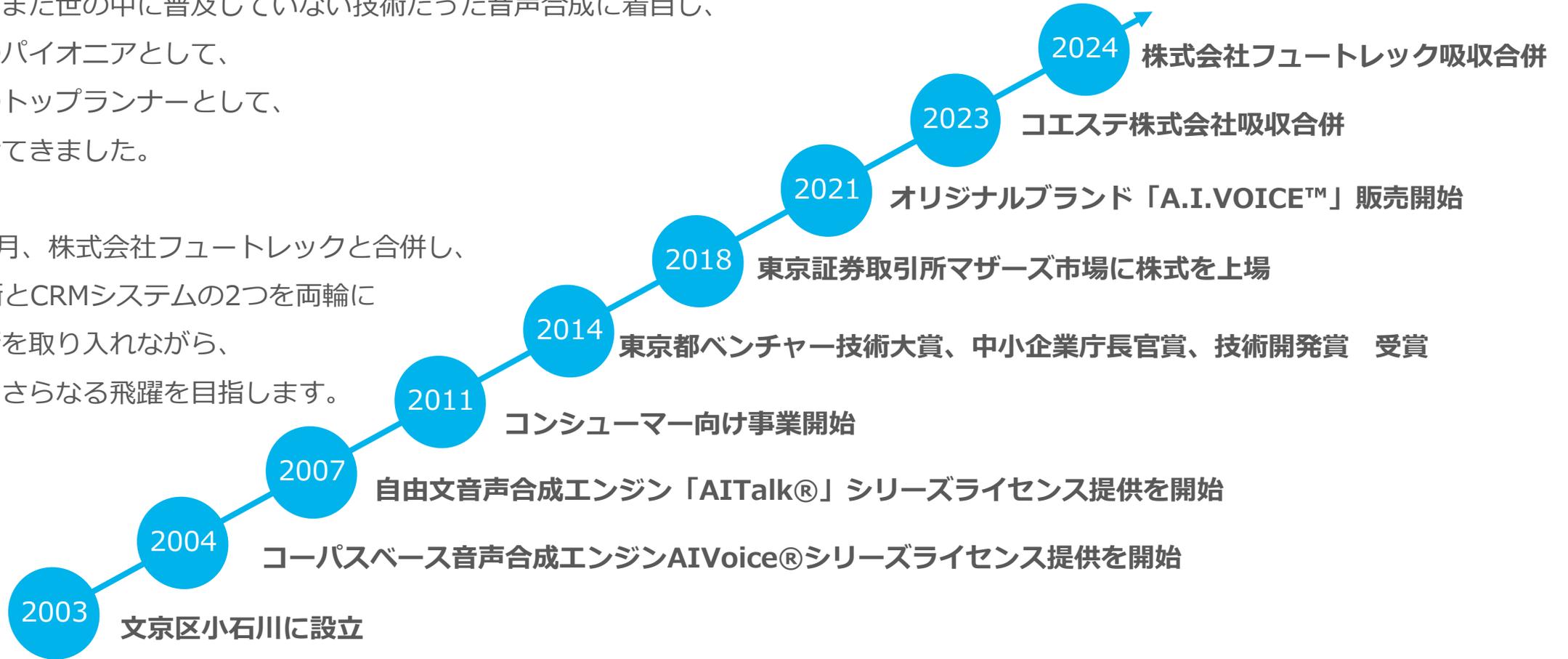
吉田 大介

株式会社ソルクシーズ

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

設立当時、まだ世の中に普及していない技術だった音声合成に着目し、音声技術のパイオニアとして、音声技術のトップランナーとして、挑戦し続けてきました。

2024年10月、株式会社フュートレックと合併し、AI音声技術とCRMシステムの2つを両輪に新たな技術を取り入れながら、これからもさらなる飛躍を目指します。



「エーアイ」のMVVとロゴマーク

MISSION ——— 声とともに便利で楽しい未来を創造する。

VISION ——— 先進技術で社会の役に立つサービスを追求し続ける。

VALUE ——— A Accelerate 加速する
音声関連技術を保有する研究開発企業のトップランナーとして、
お客様のビジネス発展を加速させる。

I Interact 対話する
密なコミュニケーションで信頼をはぐくみ、
お客さまと社員を相互に幸せにする企業価値を実現する。

+ Trek 追求する
社会に革新をもたらすべく大胆に挑戦し、
市場に求められる新たな価値を探求し続ける。



2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

売上高（第2四半期）

400百万円（前年同期比+33.7%、期初計画比▲7.2%）

営業利益（第2四半期）

9百万円（前年同期比+95.4%、期初計画比+1929%）

法人向け製品は、DX推進の機運により引き続き堅調に推移

ロイヤリティ収入およびパッケージ製品に加え、消防・防災向けのライセンス売上が、前年に引き続き想定通りの堅調な推移
2023年9月に吸収合併したコエステ株式会社の主カクラウド製品も、クラウドサービス強化となり売上に寄与

自社IP製品・イベントが売上高に寄与

琴葉茜・葵の10周年記念ライブの開催や、A.I.VOICE2新規製品発売が売上に寄与

売上高は計画を下回ったものの、原価減とコスト抑制により営業利益は想定を上回って着地

売上高のが計画を下回ったのは、受託案件の計画未達によるものだが、その分原価の発生が抑えられている
また、2024年10月に向けた合併関連費用が発生したものの、広告宣伝費の抑制などもあり、営業利益は大きく上振れての
着地となった

業績ハイライト

(百万円)	2024年 第2四半期 (実績)	▶	2025年 第2四半期 (実績)	前年同期比 増減率	計画比 増減率
売上高	299	▶	400	+33.7%	△7.3%
営業利益	4	▶	9	+95.4%	+1929%
経常利益	4	▶	8	+77.2%	+2450%
中間純損失	△9	▶	△0	-	-

分類別売上

(百万円)	2024年 第2四半期 (実績)	2025年 第2四半期 (実績)	前年同期比 増減率
法人向け製品	126	184	+45.1%
法人向け サービス	96	113	+17.7%
コンシューマー 向け製品	77	103	+34.6%
合計	299	400	+33.7%

法人向け製品

- ✓ 受託案件により45.1%増。
- ✓ ロイヤリティ収入、消防防災案件も堅調に推移。

法人向けサービス

- ✓ 2023年9月に吸収合併したコエステ社のクラウドサービスにより前年比売上増にて着地。

コンシューマー向け製品

- ✓ 2024年4月実施のイベント開催により売上は純増。
- ✓ A.I.VOICE2シリーズ新規製品の発売も売上に寄与。

損益計算書詳細

(百万円)	2024年3月期 第2四半期 (実績)	構成比	2025年3月期 第2四半期 (実績)	構成比	前年同期比 増減率
売上高	299	100%	400	100%	33.7%
売上原価	80	26.9%	160	40.0%	98.8%
売上総利益	219	73.1%	240	60.0%	9.7%
販売管理費	214	71.5%	230	57.5%	7.4%
営業利益	4	1.7%	9	2.2%	125%
経常利益	4	1.6%	8	2%	100%
中間純損失	△9	-	△4	△0	-

貸借対照表の概要

(百万円)	2024年 3月期	2025年 第2四半期	前事業 年度末		2024年 3月期	2025年 第2四半期	前事業 年度末
流動資産	701	509	△192	流動負債	303	144	△159
固定資産	1,005	1,022	+17	固定負債	105	90	△15
有形固定資産	10	29	+19	負債合計	409	234	△175
無形固定資産	43	46	+3	純資産	1,300	1300	-
投資 その他の資産	950	947	△3				
資産合計	1,710	1,534	△176	負債・ 純資産合計	1,710	1,534	△176

資産合計

✓ 現金及び預金が183,049千円減少し、1,534,781千円となりました。

負債合計

✓ 短期借入金が90,000千円、契約負債が44,859千円、社債が15,000千円減少し、234,462千円となりました。

純資産合計

✓ 利益剰余金が465千円減少し、当中間会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して465千円減少しました。

3. 2025年3月期 通期 業績予想・配当方針

2025年3月期 通期 業績予想（連結）

2024年10月1日、当社はフュートレックと合併し、同日にフュートレックの株主様へ当社株式を割当て交付いたしました。これに伴い、新たに発生するのれんの額とのれんの償却費、およびフュートレックの吸収合併に伴う特別損失（段階取得に係る差損）の額が確定したことから、本合併以降のフュートレックの業績予想に加えて、新たに子会社となる株式会社ATR-Trekおよび株式会社スーパーワンの業績予想および経営統合関連費用等を反映し、通期連結業績予想を公表いたしました。

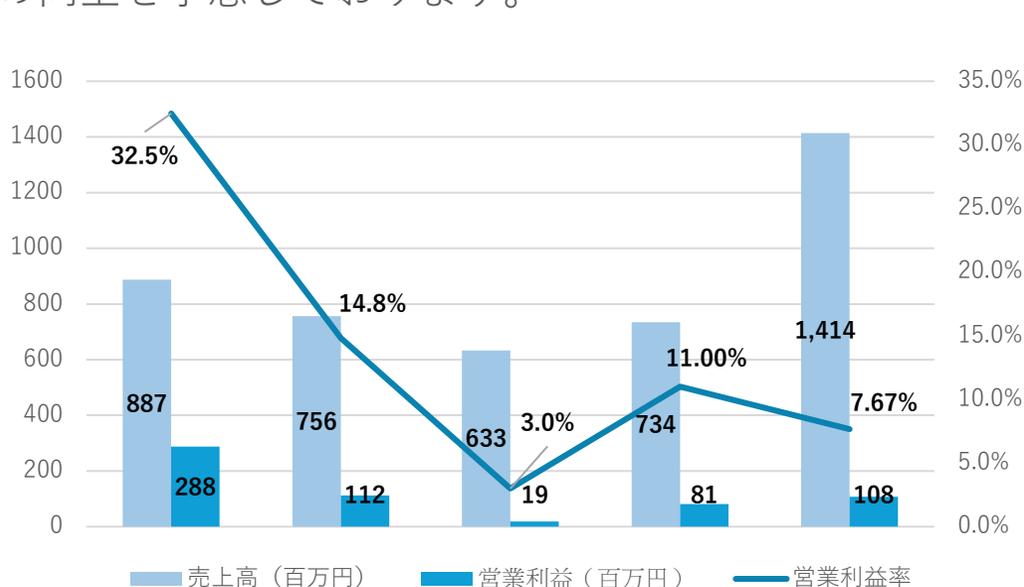
（百万円）

	2024年 3月期	2025年 3月期（予想）	前期比 増減率
売上高	-	1,475	-
営業利益	-	115	-
経常利益	-	104	-
当期純利益	-	△48	-

2025年3月期 通期 業績予想（単体）

音声事業においては消防・防災向けライセンスが今期も堅調に推移し、最新のDNN音声合成エンジン「AITalk6」を採用した法人向けナレーション作成ソフトをリリース致しました。また、旧フュートレックにおいて受注した音声収録における受託業務の納品が下期に集中が見込まれます。CRM事業においては、新商品であるVisionary Cloudの追加機能開発を進め、並行して、新規のご採用に向けた営業活動を積極的に展開しております。

当期売上高は合併効果により過去最高の1,414百万円を予想しており、営業利益についても両社の単純合計からは利益率の向上を予想しております。



(百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)	前期比 増減率
売上高	734	1,414	+92.6%
営業利益	81	108	+33.3%
経常利益	81	98	+20.9%
当期純利益	109	89	△18.4%

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2025年3月期につきましては、営業利益を115百万円と見込んでいるものの、フュートレック社の吸収合併に伴う段階取得に係る差損の影響で当期純損失を見込んでおります。これは当社業績の悪化によるものではありませんが、当期配当予想につきましては現時点で未定とさせていただきます。

4. ESGへの取り組み

S: 社会	①女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社員51名中、女性が27名（52.9%） ・管理職16名中、女性が6名（37.5%）
	②子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業制度の活用 6名（内、男性1名）
	③働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・フレックスタイム制度の導入 ・残業の少ない職場環境 月平均残業時間：7.47時間（前期平均）（参考：前々期5.64時間） ・休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率：92.5%（前期実績）（参考：前々期87.6%） ・在宅勤務制度の導入 在宅勤務対象者：全社員の85.8%（前期実績）（参考：前々期92.4%）
	④社会貢献活動の推進 (2024年4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の企業訪問 24校（151名）
	⑤SDGs推進私募債発行	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料の一部がSDGs関連団体に寄付される私募債を発行
G: ガバナンス	①株主・投資家との対話 (2024年4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・機関投資家向け説明会の開催 1回 ・機関投資家との1on1ミーティング 1回

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。